

石川民医連と医師をめざすすべてのみなさんをつなぐ

2025
Autumn

みまっし通信

67



特集

安心して医療を受けられることができる社会に

地域医療を守れ

—全国で何が起きているか現場からのレポート—



けんろく診療所 / 金沢東ブロック



寺井病院 / 南加賀ブロック



城北病院 / 金沢北ブロック



小松みなみ診療所 / 南加賀ブロック



上荒屋クリニック・やすらぎホーム / 西ブロック



輪島診療所 / 奥能登ブロック

Free Talk 医学生担当のつぶやき

表紙写真
地域の笑顔広がる秋の健康まつり

発行
石川県民主医療機関連合会
金沢事務所
金沢市京町24-14
076-253-1458
gakusei@imin-iren.jp

全国の病院の7割が赤字！？

地域医療の危機を現場からレポート

2025年上半期の医療機関の倒産は過去最多の35件となり、深刻な問題となっています。まちの医療機関がなくなれば地域住民のいのちと健康を守ることができません。受療権を守るためにも今、地域医療の実態について考えてみましょう。

全国の医療機関で何が起きているか？

① 医療機関の倒産、2025年も増加ペース続く

64件の倒産主因を分析すると「収入の減少」が41件と全体の64.1%を占めています。コロナ禍による受診控えやワクチン接種を機に施設・設備機器やサービス面を考慮して、かかりつけ医を見直す受診者が増えたことで、収入が減少したり受診者が戻らない施設が増加したとみられます。また、コロナ関連補助金の削減、資材価格高騰に伴う材料費（医薬品や検査キットなど）や設備機器費の増大、人材確保・維持のための賃上げや、コロナ関連融資の返済開始などの負担も増し、収入減少と支出増加が同時に進行したことで、資金繰りに窮し事業継続を断念する事業者が増加した結果、2025年の上半期には、すでに35件の医療機関が倒産しており、2024年の同時期を上回るペースで推移しています。

厚生労働省の統計でも医療機関の約7割が赤字となっています。都市部でも赤字を抱え医師看護師不足、建物の老朽化など複合的な要因が重なり相次いで閉院や診療休止に追い込まれています。救急医療機関や災害時に地域の患者を受け入れる災害医療の病院なども失われており、危機的状況です。

② 6病院団体（日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会・日本慢性期医療協会・全国自治体病院協議会）が緊急調査を実施

病院の経営状況は年々悪化しており、2024年度の診療報酬改定が与える影響を把握するため、6つの病院団体が約1,700の病院の経営状況を緊急調査しました。

その結果、**医業利益（※1）が赤字の病院が全体の69%にのぼることが明らかになりました。**さらに、政府系金融機関である福祉医療機構の調査でも、病院の医業利益率は経年的に低下しており、**特に急性期病院では過去最大のマイナスを記録しています。**

済生会などの公的病院でも、2024年度決算で大幅な赤字を計上するなど、経営の厳しさが広がっています。



全国では給与の未払いや病棟の縮小などを余儀なくされる病院も...

石川県内の公立病院でも医療資材費の物価高騰や給与と改定による人件費上昇で経営を圧迫していることが判明
(2025.7.9北國新聞)

※1：医業利益とは医療機関の売上（医業収益：診療、検査、入院、手術など、医療行為によって得られる収入）から、医療サービスを提供するために直接かかった費用（医業費用：医薬品の購入費、医療機器の減価償却費、スタッフの人件費など）を差し引いた金額のことをいいます。

地域の医療を守るには



全国でも深刻化する病院経営

物価上昇分を反映した診療報酬改定を求め、6病院団体が厚労省へ緊急要望

全国の約2600の病院が加入している、全日本病院協会の神野正博会長によると、「高齢化で国民医療費が増加しているため、国は財政的に診療報酬を抑制している。物価は上がっているのに、診療報酬は国が定めた公定価格なので、多くの病院が大変な経営危機に陥っている」として、今年9月、日本の主要な6病院団体が厚生労働大臣に対し緊急要望書を提出しました。要望書では病院経営が危機的状態にあることを訴え、次の2つの支援を求めています。

- ①2025年度補正予算において、緊急に病院への支援策を講ずること
(1病床当たり50万円から100万円)
- ②病院への2026年度診療報酬改定率については10%超が必要であること



(注)2014年度は消費税増税対応分を含む(これを含めない本体部分は0.1%増)、2016年度の改定額は、2014年まで含めていた想定より売れた医薬品の価格引き下げも含めると実質マイナス1.03%。(資料)新聞報道
全日本民医連ホームページより



石川県議会・金沢市議会も動き出す

「地域医療提供体制の維持・確保のための診療報酬改定等を求める意見書」全会一致で採択

9月30日、石川県議会において、自民党・公明党・共産党が共同で提案した「地域医療提供体制の維持・確保のための診療報酬改定等を求める意見書」が、全会一致で採択されました。

石川民医連では、この採択に先立つ8月25日、安居県議会議長と懇談を行い、石川県議会としての意見書提出を要請していました。懇談の中で議長からは、「病院は365日24時間体制で診療しており、水道光熱費や寝具委託費の負担が増している」「手術材料の高騰で小さな手術では赤字になる事もあると聞いている」「あなたがたが言われることはよくわかる」との発言がありました。同様の意見書が輪島市議会、小松市議会でも採択されています。

病院の厳しい経営実態が、いまや党派を超えて共有される認識となっています。私たちは今後も地域の医療を守る立場から、診療報酬の改善と安定した医療提供体制の実現を求めていきます。

地域医療を守り抜くために —城北病院 院長に聞く地域医療のこれから—

2025年4月から城北病院の院長に就任しましたが、県内各病院の院長と話をすると、どの病院も経営状態が悪く瀕死の重症です。要因は様々で、近年の深刻な物価高騰に加え、患者の受療行動の変化により外来患者数の減少や入院患者数の減少によりベッドが埋まらないことなどが挙げられます。しかし、そもそもは医療技術の進歩や人口の高齢化に見合うだけの診療報酬による評価がなされず、むしろマイナス改定が続いてきたことが最大の要因です。来年4月には診療報酬改定がありますが、これを大幅な本体プラス改定にしないと地域の医療機関が突然消えてなくなり、医療機関にかかりたくてもかかれぬ日がくるかもしれません。

是非、署名にご協力ください。

2025年11月 城北病院 院長 齊藤典才



署名にご協力ください

石川民医連では「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願書名」を15,000筆を目標に集めています。署名はMedi-Wingと同封の封筒でご返信ください(切手不要)。私たちはみなさんの声を国に届け、誰もが安心して地域で暮らし、医療を受けることができるよう、訴え続けていきますので、ぜひご協力ください(12月20日までにお送りください)。

娘の骨折で見た“地域の医療”

石川民医連医学生担当 吉田 ゆき子

10月下旬、7歳の娘が自転車で転倒。どうも左腕から落下したようです。日曜の夕方だったので慌てて城北病院の救急外来へ。こんなとき、城北病院の救急外来があつてよかった！と実感していたけれども、娘の号泣は止まらず。いたたまれず声をかけたら「注射いやだー!!」どうやら病院で注射を打たれると思っていたようです。何とか到着後、看護師、放射線技師、当直の先生に優しく「大丈夫」と声をかけられやっと落ち着きました。この日は内科の先生でしたが、「左上腕骨顆上骨折」と診断してもらい帰宅。子どもの骨折でよくあるそうですが、翌日整形外科を受診することになりました。

通院のことも考え、近所の整形外科に受付開始時間前に行くこと…駐車場も待合室もいっぱい。番号札が40番台を示しているのを見て、すぐに退出。後から私の住んでいるかほく市には整形外科が1カ所しかないことを知りました。隣の津幡町のクリニックですぐに診てもらい、3週間のギブス生活を送ることになりましたが、けがや病気はなってみないと分からないがあることを実感させられました。

世代や生活環境の違いはいろいろですが、娘の骨折のおかげで、安心して住みつづけられる地域って何だろう、と改めて考えることができました。

困ったときに頼りになる城北病院 ★★★★★



石川民医連／城北病院からのお知らせ

わたしたちの医療・介護活動に共感し、共に働いてくれる
石川民医連 **あなたの将来を応援します!**

奨学金制度

医師・歯科医師を目指す学生

1～6年生 (月額) **金額を選択** する事ができます!

① 50,000円
② 100,000円

薬剤師を目指す学生

1～4年生 (月額) 50,000円
5～6年生 (月額) 70,000円

看護師・保健師を目指す学生

全学年 (月額) 50,000円

リハビリ・歯科衛生士・介護福祉士を目指す学生

全学年 (月額) 50,000円

詳しくは、石川民医連ホームページをご覧ください

石川民医連 金沢市京町 24-14 tel.076-253-1458

石川民医連の病院施設等への勤務により返済を免除する規定を設けています!

お待たせしました 毎年好評!

城北病院 心電図セミナー

全10回
第1回 2025年12月27日(土) 9:30
金沢大学・金沢医科大学4年生対象
講師 城北病院 医師 柳沢深志

月に1回、完結の 카테고리学習なので、途中からの参加もOK
基礎から応用までしっかり学べる150分
講師は10年以上にわたり心電図セミナーを担当する経験豊富な医師です
詳しくはInstagramをチェック!

問い合わせ 石川民医連 医学生担当 藤木
076-253-1458 gakusei@imin-iren.jp

金沢事務所Instagram
医学生イベントのこと
城北病院のこと
研修医のこと
奨学生活動のこと etc
Check it out!

FOLLOW ME

石川民医連奨学金制度／城北病院の見学・実習については医学生担当までご相談ください

石川県民主医療機関連合会 金沢市京町24-14

TEL 076-253-1458

MAIL gakusei@imin-iren.jp

石川民医連 医学生・医療系学生サポートセンター

金沢事務所 金沢市石引1-10-7/内灘事務所 河北郡内灘町ハマナス ハイックY101号